

2025 年度 大学院秋季入試（法律学専攻）

博士課程（前期）

外国語科目 日本語

【合否判定の方法】

・一般1方式《外国語科目》《専攻科目》《面接》

提出書類、外国語科目と専攻科目の筆記試験の成績、および面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

一般2方式《専門科目》《専攻科目》《面接》

提出書類、専門科目と専攻科目の筆記試験の成績、および面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

法律学専攻の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、提出書類、筆記試験の結果、および面接の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士前期課程における研究遂行能力の有無を判断する。

1 試験日 2024 年 10 月 12 日

2 科目 日本語（100 点満点）

3 出題意図

本科目は、日本語を母国語としない学生を対象としており、法律に関連する日本語の文章をどの程度読み解くことができているのか、そして意見を整理して日本語の文章を書くことが十分にできているかを測定する試験となっている。これにより、大学院の研究対象となる法律学の日本語文献を読解する能力、および論文執筆に必要な日本語の文章表現能力を確認することを意図している。

以上